

PROGRAM NOTE

『アンデスの声』 の聴取者をたずねて

南米ふれあいの旅 1995年

「南米ふれあいの旅」は、広大な南米大陸のすみずみでHCJB日本語放送『アンデスの声』をきいている人たちとのさまざまな出会いがありました。遠く祖国を離れ、原生林のなかで苦闘しながら生き抜いてきた日系移住者家族をたずねて約一ヶ月間にわたる旅でした。集会も30回をこえて300名余のリスナーの方々とお会いきました。故郷をあとに南米へ渡り、気候、風土の違いにとまどいながら耕地を広げ作物を育てる重労働の毎日。水道も電気もない陸の孤島のような開拓地でとっぷりと日が暮れると「アンデスの声」が聞こえてきたのです。この旅は、ブラジル福音ホーリネス教団70周年記念感謝会に招待されて実現したもので、席上、教団代表からHCJBに特別の感謝状と額縁が贈られました。

そこには、ポルトガル語で「ブラジルの日系人家族のために果たされたHCJB日本語放送『アンデスの声』の多大なる功績に対して心からの尊敬と感謝を表します」と書かれ、<涙をもって種まくものは、喜びの声をもって刈り取る（詩篇126篇5節）の聖句が刻まれていました。この日、感動的だったのは、次世代の指導者たちと初期開拓伝道者たちとの世代交代の場面でした。親子が涙ながらに肩をたたき抱き合う姿には、同じ使命に立つものの強い絆と底力を感じました。



ごぼう作りの名人高橋丹次氏、長男喜一氏（後列）
奥様（前列右端） 余技の高橋節浪曲も一流。



養蚕を営む29年リスナー 星野定夫さん



63年ぶりの日本 豊原文夫さん 施設経営の23年リスナー 小川夫妻



サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

6月07日	星野定男
6月14日	高橋丹治・木村きよ
6月21日	浅見夫妻・榎原セツ子・芦原夫妻
6月28日	豊原文夫・小川三郎夫妻

バイブル・トーク

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

6月01日	矢島楫子伝（2）
6月08日	矢島楫子伝（3）
6月15日	リスナーからの「お便り交換の時間」
6月22日	矢島楫子伝（4）
6月29日	矢島楫子伝（5）

放送後の番組は、ホームページ(<http://Japanese.reachbeyond.org>)のトップページ左側メニューにある
『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15525kHz （再放送） 午後7時55分～8時25分 15400kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

